

子ども未来塾に社会公益賞

釧路 文化、スポーツ体験の場提供



フラワーアレンジメントを体験する「くしろ子ども未来塾」の参加者(くしろ子ども未来塾提供)

釧路市で月1度、小学生以下を対象に学習や趣味の講座を開いているNPO法人「くしろ子ども未来塾」(吉田敦子理事長)が、米国の国際的な社会奉仕団体「キワニスクラブ」の札幌クラブから「第43回社会公益賞」を贈られた。

管内からの選出は初めて。くしろ子ども未来塾は2012年、釧路の子どもの学力や文化意識を高める場をつくろうと始まった。月1回、原則第1日曜日に開催し、基礎学力の講座や日本舞踊、ダンス、絵画、茶道、琴、囲碁、剣道などの文化やスポーツを体験できる約20講座を用意している。1日300円で複数の講座を体験できるのが好評で、7月までに94回開催し、延べ

約8200人が参加した。現役教員や各分野の専門家がボランティアで講師を務める。講座で詩吟を体験した子どもがその後、本格的に習い始めて全道大会に出場するまでになったり、運動が苦手な子どもが講座をきっかけに跳び箱が得意になるなど、才能開花の場にもなっている。

吉田理事長は「釧路の活動を札幌方面の人にも見つけてもらえてうれしかった。今後も活動を継続する上での励みになりました」と話している。

次回は8月2日午前10時〜正午、市生涯学習センターで開講。4歳から小学6年生までが対象で、7歳未満は保護者同伴。申し込み不要で上履きが必要。問い合わせは市生涯学習センター ☎0154・41・8181へ。

(中川麻衣子)

◆1日に雑貨販売などイベント 国際交流に取り組む釧路市の市民団体「グローカーンみらいネット」は8月1日午前10時から、釧路フィッシャーマンズワーフMOO2階(錦町2)でイベント「フレンドシップラザ」を開く。

畳のへりを使った手作りバッグや布小物などの雑貨販売のほか、浴衣や着物の着付け体験や切り絵体験など13店が出店する。入場無料だが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として連絡先の記入、または厚生労働省の接触確認アプリへの登録が必要。問い合わせは佐藤さん ☎090・8429・0072へ。